



やさしい・5音

オカリナで「朝（ペール・ギュント）」を吹こう

「朝（ペール・ギュント）」のオカリナのドレミ（色分け）、楽譜、運指図、音を聴きながらの練習。

グリーク『ペール・ギュント』（1875年）の日の出のメロディー「朝」。オカリナの音域のまん中をゆったりと揺れ動きます。使う音は5つ：ド・レ・ミ・ソ・ラ。

音とリズム



長いブロックは長い音、縦の線は小節の区切りです。

楽譜



ト音記号の五線譜。各音の下にドレミを書いています。

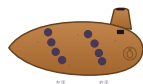
ドレミで書くと

ソ ミ レ ド レ ミ ソ ミ レ ド レ ミ レ ミ ソ ミ ソ

ラ ミ ラ ソ ミ レ ド

オカリナの運指

ド・低いド

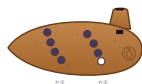


表・指穴



裏・親指の穴と小さなサブホール
(開ける)

レ・低いレ

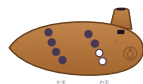


表・指穴



裏・親指の穴と小さなサブホール
(開ける)

ミ・低いミ

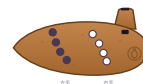


表・指穴

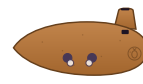


裏・親指の穴と小さなサブホール
(開ける)

ソ・ソ

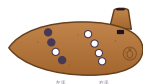


表・指穴



裏・親指の穴と小さなサブホール
(開ける)

ラ・ラ



表・指穴



裏・親指の穴と小さなサブホール
(開ける)

「朝（ペール・ギュント）」を吹くコツ

- 一音一音、舌でやさしく区切って始めましょう（「トゥー」「ドゥー」とささやくように）。
- 穴は指先ではなく、指の腹のやわらかいところで完全にふさぎましょう。
- オカリナの音程は息で変わります。弱く吹くと低く、強く吹くと高くなります。
- 低い音にはいちばんやさしい息が必要です。低い音が揺れたりピーと鳴ったりしたら、息を弱くして、下のほうの指が穴を完全にふさいでいるか確かめましょう。